



修学旅行（3年）、校外学習（2年）から早2週間・・・

3年生が修学旅行、2年生が校外学習から2週間がたちました。季節もうつろい、なんだか随分と前のような気もしますが、学校を離れ、友だちと過ごしたあの時の体験や思いは貴重です。“楽しかった思い出”にとどめず、ぜひ今の学校生活を充実させるエネルギーにしてほしいです。（※修学旅行や校外学習の様子は、十八中のHP(ホームページ)にも詳しく紹介しています。）

3年生修学旅行 10月28日、29日（京都保津川下り、嵐山散策、USJ）

2度の延期と、行先等の変更を経て、実施できた修学旅行。昨年の林間は校外学習に変更し、宿泊できなかつただけに、修学旅行が実施できて本当に良かったです！



ひたすら食べたバイキング！



温かかったクラスミーティング

なぜ、真剣でいて、しかも温かい雰囲気にあふれていたか考えると、語る人が友だちを信頼して、普段なかなか言えないことも語っていたこと。そして、それを聴く人たちが、友だちの話を大事に受け止めようとする雰囲気があったこと。この二つがびたっと重なり、あのクラスミーティングが生まれたのでしょう。多くの人が語っていた、「残り少ない中学生生活の一日一日を大切にしていきたい、友だちと仲よくしていきたい」という思い、本当に大事なことだと思いました。

一日一日のカウントダウンの中で、友だちと過ごす義務教育最後の日々をかけがえのない毎日にしてほしいと心から願います。

一日目の保津川下りや嵐山散策、二日目のUSJでの自由散策では、友だちと一緒にのみやげを見たり、食べ歩きをしたり、アトラクションで遊んだり・・・と、思いっきり楽しむ姿を見ることができました。感心したのは、よく食べることです。ホテルでの夕食、朝食はバイキング。それも中学生が好きそうな肉系の料理やめん類、デザートなどが食べ放題とあって、何度も料理コーナーとテーブルを往復していました。食べている時の3年生の幸せそうな顔がほほえましかったです。

真剣でいて、しかも温かい雰囲気にあふれていた夜のクラスミーティングは印象的でした。一人ずつが語る「みんなに伝えたいこと」は、友だちへの感謝、知ってほしい自分、つらかった経験、成長した自分、進路のこと、受験への不安など、それぞれが今のクラスだから言える“本当の思い”だと感じました。涙ぐみながら語ったり聴いたりしている人もいました。

2年生校外学習 10月29日（万博記念公園）



写真は十八中HPより

2年生の校外学習も、やはり延期や行先変更の末の実施でした。近場の万博公園だったので、目新しさはなかったかもしれませんが、友だちと一緒に好天の下、広大な敷地でゆったりのおびのび過ごせたことは、楽しさ+心身のリフレッシュにもつながったのではないのでしょうか。

私自身は2年生の校外学習には参加できませんでしたが、HPや2年生の先生のお話などから、2年生のみなさんが楽しい一日を過ごせたことを知ることができました。

午前中のグループワーク「先生を探せ！」や昼からの自由散策、レクリエーションタイムなど楽しい企画が多かったようです。

レクリエーションタイムはビデオで見ましたが、3グループの出演者の頑張りや、楽しみながら応援している学年の様子が伝わってきましたよ。

グループ行動の中で一部課題もあったようですが、それも含めて今後の学年づくりに生かしてほしい校外学習でした。

そして、学年集会で考えました

修学旅行や校外学習後、3年生も2年生も学年集会をもつ機会がありました。そこでは、学年の先生方から、学校生活の中の気になる様子を伝えながら、改めて「仲間を大切にし、みんなで学年目標の実現をめざしいこう」というお話がありました。

修学旅行や校外学習で素敵な力をたくさん発揮したみなさんだからこそ、残り半年を切った今の学年での日々を大切にし、安心安全で楽しい学年、学校を一緒につくってほしいです。

4人のゲストティーチャーから教えてもらいました…1年生多文化共生教育（11/2）



ゴミ出しや、ウォシュレットでも苦労が…(Cさん)

オーストラリア出身のAさん、中国出身のBさん、クロアチア出身のCさん、韓国出身のDさんから、それぞれの国の様子や文化について教えてもらいました。また、日本で生活する中で、苦労したことお伝えしてもらうことから、“誰もが住みやすい町づくり”には何が必要なのかを、現在グループで考えています。17日の交流会が楽しみです。

☆☆☆ 他にも十八中があった！☆☆☆

一中や二中、三中などは豊中以外にもたくさんありますが、十八中は日本では本校だけです。ところが、中国福建省出身のBさんが「私も十八中出身なんです」とおっしゃったのにはビックリ！ネットで調べてみると中国では「十八中」が10以上もあるのです。さすが14億人の国…